

ポイント 会社の一定期間の資金の動きを表したものです。

A9 決算書は発生主義に基づいて計上されておりますので、現金預金の動きについてはどうように動いているのかわかりません。そこで資金の流れについて表したのがこのキャッシュフロー計算書です。このキャッシュフロー計算書はB/SやP/Lに続く第3の決算書と言われ、会社の活動を営業活動によるもの、投資活動によるもの、財務活動によるものと3つに区分しています。

① **営業活動によるキャッシュフロー**

商品の販売やサービスの提供による収入、原材料や商品の仕入れによる支出、人件費の支出、受取利息、受取配当金、支払利息や法人税の支払いなどがあります。

② **投資活動によるキャッシュフロー**

有価証券の取得による支出と売却による収入、有形固定資産の取得による支出と売却による収入、貸付による支出と貸付の回収による収入などがあります。

③ **財務活動によるキャッシュフロー**

短期借入、長期借入による収入、短期借入、長期借入の返済による支出、株式の発行による収入、配当金の支払による支出などがあります。

①の営業活動によるキャッシュフローと②の投資活動によるキャッシュフローを合計したものをフリーキャッシュフローと呼び、これがプラスであれば営業活動による資金で設備投資を行いかつ余剰資金で借入の返済や配当が行なえることとなり望ましいことと言えます。

